

クレオ大阪西・こども文化センター サマーサイエンスフェスタで わくわく・おもしろ実験を楽しみました。

猛暑日となった8月10日(土)クレオ大阪西・こども文化センターでは、両センターの特性を活かした連携事業として、子どもとその保護者を対象に、サマーサイエンスフェスタを開催しました。たくさんの親子連れの方に楽しみながら、実験や科学について興味や関心を深めていただく1日となりました。

クレオ大阪西主催

親子で楽しむわくわく理科実験 きらきら☆ミラクルボックスをつくらう



クレオ大阪西では、四天王寺大学准教授の佐藤美子さん、大学生のお姉さんたちの力を借りながら、親子で偏光板をつかった不思議な箱作りに挑戦しました。

この実験は、光の性質を応用したもので、箱の中にあるはずのない仕切りが見えるというしかけに、参加者からは「工夫してできることが、とてもすごいと思った」「楽しみながら理科に接することができた」等の感想をいただき、たいへん好評でした。



こども文化センター主催

夏休み 山田先生のわくわく ドキドキのおもしろ実験ショー



午後からは、こども文化センター主催で、こども劇場「夏休み 山田先生のわくわくドキドキのおもしろ実験ショー～身近な不思議を体験しよう～」を開催。

「探偵ナイトスクープ」の理科・物理担当として知られる山田善春さんをお迎えして、自分の身体や、爪楊枝、ヤキシバといった身近なものを題材にした実演と、大阪ならではの笑いを交えた1時間半のお話に、子ども達も興味津々。特に、長さ約3メートルのエアポールを全員で飛ばす様子は非常に感動的で、ホール中にカラフルなポールが浮かび上がる光景は壮観でした★

こども文化センター主催

チョコレート科学遊びコーナー (たねとばし&飛行リンク)



ホールイベントの終了後に、山田先生が実験ショーで披露した飛行リンクなどを子どもたちが自分たちで作成できるワークショップを開催しました。

元キッズプラザ大阪インタープリターの皆さんにご協力いただき、飛行リンクやたねとばしなどを実際に作成・体験することで、楽しみながら理科に興味を深めていただく機会となりました。



クレオ大阪では、だれもが個性と能力を活かせる社会をめざし、小・中・高校の女子のリコチャレ(理工チャレンジ)推進に取り組んでいます。

詳しくは <http://www.creo-osaka.or.jp/riko-challe.html>